

投与プロトコール 1コース 21日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~2、年齢:20歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートKeep	生食 500mL	—	Day1,8	—		
①	初回	パージェタ:840mg/body ----- 生食 250mL	mg	Day1		60分
	2回目以降	パージェタ:420mg/body ----- 生食 250mL				mg
経過観察	下記参照					
②	初回	<input type="checkbox"/> トラスツズマブBS:8mg/kg <input type="checkbox"/> (ハーセプチン:8mg/kg) 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解 (溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 ----- 生食 250mL	mg	Day1		90分
	2回目以降	<input type="checkbox"/> トラスツズマブBS:6mg/kg <input type="checkbox"/> (ハーセプチン:6mg/kg) 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解 (溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 ----- 生食 250mL				mg
経過観察	下記参照					
	ルートキープ用生食でフラッシュする					
プレメディ	5-HT ₃ 受容体拮抗薬+デキサメタゾン+生食100mL		Day1,8	30分		
③	ハラヴェン:1.4mg/m ² ----- 生食 50mL	mg	Day1,8	5分		
<p>◆パージェタ・ハーセプチンは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</p> <p>◆経過観察:パージェタ及びハーセプチン投与終了後、Infusion reactionの発現がないことを確認してから、次の薬剤を投与する。初回は30分の経過観察を行い、2回目以降は様子を見て短縮可能。</p> <p>◆前回投与日から投与間隔が6週間以上の場合、パージェタ及びトラスツズマブ(ハーセプチン)ともに初回投与量を再投与。</p> <p>◆ハラヴェンは催吐リスクは軽度で、ガイドライン推奨制吐療法はデキサメタゾンのみだが、外来で行う上でのQOLを考慮して5-HT₃受容体拮抗薬も予め投与する。</p>						

佐賀大学医学部附属病院